



強 歩大会お疲れさまでした。10月13日(木)は昨年度より1週間早く実施しましたが、終日曇りヒンヤリしたなかで、18kmの道のりを走ったり歩いたりして、それぞれの体調に合わせて頑張ったと思います。

本校の強歩大会は、1969年(昭和44年)からはじまり、今年で53年目ということになる、音楽会(1949年~)、弥生祭(1960年~)に次ぐ伝統的な学校行事です。生徒の皆さんにとっては体力的にきつい行事ですが、走り(歩き)終えたときに達成感を味わえる大切な行事です。大会翌日、休日にしなくても普通に授業に参加できる生徒の力強さは先輩方から引き継ぐよき伝統です。



長 長野警察鉄道警察隊は、痴漢・盗撮被害撲滅の目的で広報啓発するため、県内4校(各四地区で1校)に書道パフォーマンスを依頼しました。南信地区では本校が選ばれ、書道部が、「あなたの勇気が被害者を救います!」という力強い作品をつくり、9月いっぱい伊那市駅に掲示されていました。

10月12日(水)に県警本部鉄道警察隊の皆さんが来校し、社会における防犯意識の高揚と犯罪防止に貢献したとして書道部に感謝状を贈呈していただきました。(右の新聞記事は贈呈式の内容の記事で、長野日報の許可を得て掲載しています)書道部長の2C渋谷咲未さんは「見た人がちょっとでも意識してもらえる作品になっていたならうれしい」と語っていました。



長野日報記事(令和4年10月13日)

校 長室の机の中を整理していたら、「夏の屋台村へのご協力のお礼」という文書が出てきてよく見ると、

本校3E中村佳音さんと3C入谷奏音さん二人が、今年の7月18日に箕輪町木下地区で行われた困窮者支援イベントの「屋台村」の高校生ボランティアとして参加したお礼状でした。

上伊那広域連合の安積順子さん(本校同窓会副会長)から夏休みの終わり頃に渡されたまま机の中に入っていました。そこに参加していた高校生の名簿をみると4校の高校生10名のうち3年生は本校生徒二人のみでした。高校生は、子ども食堂での綿あめ作りのお手伝いと配布、カレー作りと配膳などをしたようです。お礼状に書かれていたのは、「どの生徒も学校の枠を超えて相談する姿や依頼に応える姿があり、気を利かして動いてくれる姿に感動しました」とありました。コロナ禍で生活が困窮している方々の現実に触れ、一所懸命にサポートしていた姿が目につかびます。このようなボランティア活動の経験によって、人の痛みのわかる心根の優しい素晴らしい人に成長されていくと思います。

